

授業科目名	6. フードシステム学(フードシステム学特論)
授業形態	講義
単位数	1単位
時間数	11.25時間(100分授業×7回)
担当教員名	中嶋 康博
担当形態	単独
【授業のテーマ及び到達目標】 ディプロマ・ポリシーに掲げられている栄養学・保健学の精深な学識と専門分野における研究能力の修得において、関連する社会科学的素養の獲得を目的とする。そのために食生活の変化、食をめぐる産業、社会的に必要とされる制度の実態と背景を社会科学的視点、特に経済学的視点に基づいて、理解して考察できる思考方法と専門知識を身に付ける。	
【授業の概要】 現代の食と農は大きな曲がり角に直面している。これからの行く末を見通すために、食と農、そしてそれらを支える社会的枠組みの現状と課題をフードシステム概念を通して学ぶ。授業全体を通して考えるための基礎であるフードシステムの枠組みと機能を紹介する。その上で、わが国と世界の食料消費が戦後どのように変化したかを確認し、近年の特徴を述べる。次に、それらの食を支える農業、食品製造業、流通業、小売業の実態を産業構造および産業組織という観点から説明する。さらに近年、消費者の最大の関心事項である、食の安全制度と表示制度を取り上げて、その枠組みと社会的課題について考察する。最後にSDGsを目指す中で世界が直面している食料問題と環境問題のジレンマおよびそこでフードシステムが果たすべき役割について学び考える。	
【授業計画】《英語併用可》	
第1回	フードシステムとは何か
第2回	食料消費と食行動
第3回	フードセキュリティ政策と食料自給率
第4回	現代の農業・水産業
第5回	フードシステムの産業構造
第6回	食の制度(安全衛生、表示、規格)
第7回	持続可能な食
【授業外学習】 授業時に配布した資料以外に参考書に目を通すこと。英語でレポートを作成する場合は、FAOの報告書を参照すること。	
【教科書】 なし	
【参考書】 時子山ひろみ・荏開津典生・中嶋康博『フードシステムの経済学(第6版)』医歯薬出版、2019年 FAO「The State of Food Security and Nutrition in the World」2026年版(7月以降にダウンロード可の予定)	
【教材】 適宜資料を配布する予定。	
【成績評価の方法・基準】 授業への参加態度(50%)および提出されたレポート(50%)により評価する。	
【備考】 特になし	